

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	運営に関しては言うことをためらう家族の気持ちを考慮しながらも、より多くの意見や要望を出してもらえるように、引出すための取り組みを進めることを期待したい。	利用者様のより快適で生き甲斐があり、笑顔の多くなる生活を目指し、施設の従業者と家族が協力し、支援を工夫して取り組む体制をつくる。	1. 左の目標達成にかかわるアンケートを行い(3/6発送実施済)参考とする。意見箱の利用も伝えた。 2. 家族の来訪時に、利用者様の状況を伝えると共に、要望を傾聴する。	1に7月までは済み。 2. (1ヶ月)では年間通じて行う。
2	26 (10)	計画に沿った支援が提供ができるように、介護計画書を活用し、現状に即した介護計画の見直しを期待したい。	利用者様の生活向上のために介護計画の抜きを今までより重視し、また介護計画の内容をより良いものとするよう、従業者一同で工夫する。	1. アカンパレンスの時(月一度や、必要に応じて開催)介護計画書(事前に従業者に配布)をもとにして話し合う。 2. 最新の介護計画書を介護記録綴りの見開き置き、できるだけ見易いようにする。	1ヶ月(今後ずっと実施)
3	48	本施設のアンケート「本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか。」について「2.時々見られる」が9枚中3枚あり、(他は「1.よく見られる」が6人)これの改善の必要を感じた。	利用者様が生き生きとした表情や姿が見られるように、利用者様個々のことをより深く理解し、より適切な支援ができるようにする。	1. 利用者様との気持ちよいふれあい(心理学用語のプラスのストローク)の機会・時間をできるだけ多くするよう心がける。 2. 好きな事・誇りとする事など、本人や家族に聞き、本人の興味・関心を示し、喜ぶような事柄を把握して、対応に生かす。	1ヶ月(今後ずっと実施)
4				参考: プラスのストロークの例。 好意を持って次のようなことを行う。 ・微笑かける。・気持ちよいあいさつをする。・さえずりすじくり話を聞く。・ほめる。・抱きしめる。・頭を優しくなでる。・信頼する。など 子供のしつけ・教育をはじめ、介護やその他の人間関係にも有意義な考えを「巨マニチュード」の方法の柱の4つの内の1.「見る」、2.「話す」、3.「触れる」に一致する考え方と想い。	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。